

米子市の地方創生への取組 《現時点における方向性》 平成27年7月

～「米子市人口ビジョン(中間とりまとめ)」及び「米子市の地方創生総合戦略(骨子)」の概要～

資料1

《国勢調査(10月1日)における人口》

- ◆2010年の人口 ⇒ 148,271人
- ※2014年住民基本台帳人口(10月1日) ⇒ 149,911人
- 《国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の人口推計》
- ◆2040年の推計人口 ⇒ 120,184人(対国勢調査△19%)
- ◆2060年の推計人口 ⇒ 95,270人(対国勢調査△36%)

人口ビジョン(中間取りまとめ)

《人口動向分析》

- ◆30年間、14万人以上(国勢調査)を維持(2005年⇒2010年微減)
- ◆2010年生産年齢人口(61.3%)・年少人口(14.3%) ⇒ 減少傾向
- ◆2010年老年人口(24.4%) ⇒ 増加傾向
- ◆2013年合計特殊出生率 ⇒ 1.78(全国1.43・鳥取県1.62)
- ◆女性人口(15～49歳) ⇒ 減少傾向
- ◆出生数は横ばい、死亡数は急増 ⇒ 2000年代後半から自然減
- ◆2010年から社会増の状態 ⇒ 2014年に社会減
- ◆転入者の5割強は山陰両県から(関西圏・首都圏からは2割)※人口ダム機能
- ◆転出者の5割弱は山陰両県へ(関西圏・首都圏へは2割強)
- ◆10代後半～20代前半(高校等卒業時) ⇒ 転出超過(ほぼ関西圏・首都圏)は拡大
- ◆20代後半(大学等卒業後の就職時) ⇒ 転入超過(ほぼ山陰両県)は縮小
- 《独自の人口推計》
- ◆2040年の推計人口 ⇒ 128,703人(対社人研107%)
- ◆2060年の推計人口 ⇒ 109,561人(対社人研115%)
- ※推計の仮定は、合計特殊出生率を1.68(過去5年平均)で固定、社会移動は均衡
- 《さらに地方創生の取組による政策効果を想定した将来人口推計》
- ◆2040年の推計人口 ⇒ 137,972人(対社人研115%)
- ◆2060年の推計人口 ⇒ 128,541人(対社人研135%)
- ※推計の仮定は、合計特殊出生率を2030年に2.07(人口置換水準)となるよう段階的に向上(その後一定)、若い世代(10代・20代)の社会移動率を独自の人口推計より2%増加(5年間で400人程度の社会増)

【人口減少緩和のポイント】

- 出生数増加
- ・若年女性の人口減少抑制
- ・出生率向上
- 山陰両県外からの移住と若者のふるさと回帰の促進

【人口の将来展望・目標人口】(案)

- 2040年において、13万8千人以上を維持
- 2060年において、12万8千人以上を維持

名称: がいな米子創生総合戦略(骨子)
副題: 米子市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【がいな米子創生総合戦略】を平成27年10月末までに策定
計画期間: 5年間(平成27年度～平成31年度)

政策Ⅰ しごとを守り生み出す元気なまち「がいな米子」の創生
～経済の活性化を図り、安定した雇用を創出します～

《施策分野の例》

- 企業誘致の推進と地元企業への支援 ■中小企業への支援 ■創業・事業承継への支援
- 産学官連携等による新事業・新産業の創出促進
- ブランド化戦略の推進 ■女性の再就労の支援
- 高齢者等の活躍の促進 ■NPO、市民団体等の活躍の促進 ■農業の多様な担い手づくり

政策Ⅱ ひとを呼ぶ魅力あるまち「がいな米子」の創生
～移住定住の促進・人口流出の抑制・魅力あるまちづくりの推進を図り、新しい人の流れをつくります

《施策分野の例》

- 移住定住の促進 ■CCRCの研究
- 若者の人口流出抑制と学生等市外転出者のふるさと回帰促進 ■中心市街地の活性化
- 市の魅力の再発見と内外への情報発信
- 交流人口の拡大

財政健全化への取組との調整

国の財政支援の活用

私たちのふるさとがいな米子の創生

国・県・他市町村・産・学・金・労・市民・NPO・市民団体等との連携・協力

政策Ⅲ ひとを愛し育む希望のまち「がいな米子」の創生
～少子化対策の推進を図り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえます～

《施策分野の例》

- 総合的な結婚・出産・子育て支援情報の提供
- 未婚化・晩婚化の抑制につながる婚活の出会いの場づくり ■子育て世帯への経済的支援 ■保育サービス等の充実 ■乳幼児保健・育児支援の充実 ■妊娠・出産の支援 ■仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の促進

政策Ⅳ 助けあいみんなで伸びるまち「がいな米子」の創生
～広域連携を推進し、圏域の一体的な発展を図ります～

《施策分野の例》

- 鳥取県西部圏域が連携した地方創生への取組
- 中海・宍道湖・大山圏域が連携した地方創生への取組